

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 日 作成
 20年度決算把握後平成 21 年 6 月 日 作成

事務事業名		子ども会育成連絡協議会支援事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	教育委員会事務局	課長名 高木敏明
	施策	18	子どもを見守り、育てる地域づくり		所属課	生涯学習課	担当者名 衛藤 剛
	基本事業	59	地域における子育て支援		所属班	生涯学習班	(内線) 2432
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度)		
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							
【事業の内容】 子ども会育成連絡協議会の事務局として、連絡調整や事業の運営等の支援を行う。(合志市子ども会育成連絡協議会とは単位子ども会の会員および保護者が会員であり、役員会は理事18名にて構成される、市全体の子ども会活動を支援する組織である)							
【業務の流れ】 子ども会育成連絡協議会の役員会、総会を行い、スポーツ大会等の年間事業の執行運営にあたる。また、県、九州地区の子ども会行事に参加し、広く団体間の交流を促進する。							
【主な予算費目】 職員給(事務局相当分)、職員手当(時間外勤務手当)							

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) ①子ども会育成連絡協議会の総会(年1回)、役員会(年5回) ②ソフトボール、ビーチボールバレーのスポーツ大会 ③育成会長会議(単位子ども会長による座談会) ④子どもフェスティバル共催事業	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) ①子ども会育成連絡協議会の総会(年1回)、役員会(年5回) ②スポーツ大会 ③育成会長会議(単位子ども会長による座談会) ④子どもフェスティバル共催事業
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 子ども会育成連絡協議会	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 子ども会育成連絡協議会の活動行事数 → イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 滞りなく計画通りの運営をしてもらう。	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 子ども会育成連絡協議会の子ども・保護者の数 → イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 地域で子どもを見守っている	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 計画通り実施されなかった事業数 → イ
	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 子どもの安全に不安を感じる世帯の割合 → イ

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度	
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限定 複数 年度 のみ 記載) 目 標 合 計 数 計 画 22 年 度	
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	人件費	一般財源	千円	0	0	0	0	0	0		0
		(A) 事業費計	千円	0	0	0	0	0	0		0
		うち指定経費	千円								
		うち時間外、特殊勤務手当	千円								
		トータルコスト(A)+(B)	千円	1,548	1,552	2,340	2,400	2,308	2,308		2,308
活動指標	ア イ	回	12	12	12	12	12	12	12		
対象指標	ア イ	人	3500	3414	3400	3400	3400	3400	3400		
成果指標	ア イ	回	0	0	0	0	0	0	0		
上位成果指標	ア イ	%	49.7	37.1	47	34.2	46	45	45		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

- ① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
 子ども会育成連絡協議会の活動を支援するため、事務局を受けて始まったが、その年代は特定できない。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
 子どもを対象にした事件事故が相次いで発生し、またいじめの問題がクローズアップされるなど、子どもを取り巻く社会的環境はますます厳しさを増している。子育ての問題がより重要視されていく中、家庭、学校地域での連携した取り組みを推進すべき時代になっている。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
 特になし。

事務事業名	子ども会育成連絡協議会支援事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	-----------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 団体の活動支援を通して、子どもを見守る地域づくりにかかわってもらうことで、政策に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 生涯学習関係団体の活動を事務方として全部支援することは、本来の行政職員の業務ではなく、一定の距離を置くべきだと思われ、再考するべきである。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 現状では、対象・意図は適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 団体の活動は、行政職員の関与を求めめるのは本来の目的からそれる可能性があり、切り離して運営活動することができれば、子ども会が主体の特色ある活動もできるのではないかと。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 各種団体で、多少なりとも行政職員の関与で運営しているところは、完全に切り離されると事務上の処理がとまり、活動休止になる可能性がある。子ども会において、予算内で事務局員を雇うことが現状としては厳しく、役員のみで事務及び行事の執行を行うことは難しい。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法は？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 広く市内の子どもをカバーして育成をめざす組織は、他にはない。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 事務局職員の人件費(給料・時間外勤務手当)のみであるため、削減は難しい。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 役員や単位子ども会に更なる行事への協力を求めていけば、職員の負担分は減少する。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 子ども会活動は広く市内にて行われており、その子ども会すべての関係者に関する業務であり、公正に行っている。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、行政職員が会計、事務、行事の執行のほとんどをしている状態である。 ②有効性、③効率性については、団体に業務の主体を移していくことで、改善を図れると思うが、現実には団体で事務局員を雇用することは難しく、活動が停滞する恐れがある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 各種団体の活動への支援は、対象からの依存ではなく自立を求めていくべきであるが、急激な変更は団体の活動、運営を停滞させる恐れもある。よって次第に業務の主体を移し、自立した活動を行ってもらう必要がある。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

団体の自立を促したいが、少子化の進行や加入率の低下により、地域の子どもの会運営が厳しさを増し、活動できなくなる単位子ども会も出ている。その原因として役員への負担や子ども会への興味関心が低いことが考えられる。子どもたちにとっても親にとっても魅力的でやりがいのある事業を行っていくことや、団体の効率的な運営が必要だと思われる。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	9	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	11	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)